

袖ヶ浦・Z-Challenge公式レギュレーションブック

Z-Challengeルールブック

第 1 戦開催

(第 2 版)

2021 年 6 月 5 日発行

同日開催

Legend Car Race

MARCH & NOTE Circuit Trial SP Stage

～開催にあたって～

“Z-Challenge袖ヶ浦耐久”について

“Z-Challenge袖ヶ浦耐久”は、「もっと気軽に走行したい！」の参加型イベント。

この中の“気軽に”とは、初心者でも、仲間内のみんなと長い距離を走ってみたいという思いと、その中にも規則を守りながら、一緒に楽しく走るというものです。

Z-Challengeの参加者は、ライセンスかサーキットのライセンスをもって参加していますが、この耐久は、Z-Challengeに参加している方が1人だけでもチームに入っていたら参加資格はあります。

1チームの構成は、2名以上(2台以上)。 Z-Challengeの参加者1名がいれば、ほかの車両のドライバーは走行会に参加したことがあれば、ウェア等・ライセンスなどに関しては今大会は不要です。

当レギュレーションをご一読ください。

レギュレーションについて

当“Z耐”は、「耐久レース形式」の走行会です。

従って、Z-Challengeのレギュレーションとは大きく異なる点があります。

当レギュレーションの目的は「レースの高速化を防ぐこと≒安全性を保つこと」、及びこれに従い「モータースポーツの楽しさを極力保つこと」の2つにあります。つまりは、「レースを知らなくても、安全に且つ楽しくレースを味わって欲しい」ということです。

但し、レース経験がある人には、物足りないと感じる面があるかも知れません。しかし、それは“目的”が異なるということをご認識して頂ければと思います。「誰よりも速く、そして栄光を」ではなく、「レースの雰囲気を楽しむ」ことが目下の主題なのです。当“Z耐”は最初の一步手前のステージから新規のスタートです。

Z-Challenge Stageのドライバーズポイントは付与されない。但し、ニスモフェスが行われる際には、3 Stage+ α の参考用として考慮する場合がある。

“Z耐”の予選・決勝について

予選・決勝ともに、ターゲットタイム制とします。全クラス、1周 1分30秒00とします。

このタイムより速い場合(1分29秒999等を計測システムで計測した場合)は、ドライビングスルー等のペナルティがかけられる場合があります。時間調整のためにコース上での停車、スロー走行は禁止とします。行った場合はペナルティ対象となります。

予選は、“Z耐”ですので、Z-Challengeに参加しているドライバーが自分の車両で走行することとします。但し、違反行為(接触、ホワイトラインカット、フラッグの見落としなども含む)が、あった場合は、内容に応じてグリッドを下げた決勝スタートとなる。

【新型コロナウイルス感染拡大防止策に関して】

当レギュレーション発行日現在(2021年6月5日)において、しかしながら今後の社会情勢次第で、予選の方法と内容を変更し、新型コロナウイルス感染拡大防止に、より有効な手段を取る可能性もございます。その点、ご了承くださいませ。

第 1 章 Z耐の形式と特徴について

ここでは“Z耐”の概要と、特徴ともいえる要素を解説させていただきます。

ところどころ「なんじゃそりゃ!？」というものもありますが、そこは序章の趣旨と共に寛容に受け止めて頂ければ幸いです。

1-1 “Z耐” 概要です。

形 式	／	150分耐久レース形式走行会
場 所	／	袖ヶ浦フォレスト・レースウェイ
日 時	／	2021年7月4日(日)
募集チーム数	／	4輪：35チーム

1-2 ライセンスは不要です。

“Z耐”は、Z-Challengeに参加しているドライバー以外は、基本的に走行会であるため、ライセンスは不要とします。ただし、出場するには最低限サーキットのルールを把握し、サーキット走行経験がある方を前提としております。

1-3 参加車両について

上記項目と同じ理由で、チームにZ-Challengeに参加している方(車両)が1名(台)いれば、ほかの車両は公道走行可能車両であれば OK です。

ということは、自走で現地に行って走って帰ることが出来ます!!

走行時の車両規定詳細については、別途第 3 章をご参照ください。

1-4 2台以上での参加 OK です。

参加車両は、1 チーム 2台以上とします。ピットストップは3回以上です。

例えば、3名でチームを組んだ場合、Z-Challengeに参加している車両が1台いれば、ほかの車両はそれぞれが自分の車両でエントリーすることができます(但し、車両の台数が出走選手数を超過してしまうのだけは NG です)。

選手 & 車両交代の際にトランスポンダー(計測器)をつぎの走行車へ付け換えて頂く、トランスポンダーがバトンになります。取付作業時間は3分以上です。両隣のチームはこの時間を計測してあげましょう。

1-5 予選はZ-Challengeに参加しているドライバーが走行。

予選は、Z-Challengeに参加しているドライバーが走行します。

ターゲットタイム：1分30秒/1周を基準にグリッドを決定、同タイムの場合は、先にタイムを出したチームが上位へ。近いタイムで同タイムが出た場合は、先に出したほうが上位となります。

但し、違反行為(接触、ホワイトラインカット、フラッグの見落としなども含む)が、あった場合は、内容に応じてグリッドを下げた決勝スタートとなります。

※総合結果の均衡化を図るため、**ハンデを別途追加する場合があります。**

1-6 決勝は予選同様、ターゲットタイム：1分30秒/1周を基準に走行。

全ての参加車両は、ターゲットタイム：1分30秒/1周以上でのタイムで

参加車両は但し、違反行為(接触、ホワイトラインカット、フラッグの見落としなども含む)が、あった場合は、内容に応じてグリッドを下げた決勝スタートとなります。

第 2 章 参加資格と参加車両・装備、参加方法について

ここでは参加における手順と必要な事項を明記しております。細かく書いてありますが、ほとんど走行会と一緒に。必ず熟読して下さい! 不明な点があれば、事務局までご連絡下さい。

2-1 参加できる人

Z耐久出場に於いて、Z-Challengeに参加しているドライバーがライセンスをお持ちならば他の方は不要。但し、当レギュレーションを熟読の上趣旨をご理解して頂き、ルールとマナーを守れるモラルある人に限らせて頂きます。

2-2 参加料金

1チーム当たりの参加料金は、以下の通りとなります。

参加料金	¥110,000円
保険料※1	2000円×人数分

※1：保険料は、出走する人のスポーツ安全保険加入料金です。Z-Challengeで加入済みの方は除きます。

※参加料は指定の銀行へのお振込み、または現金書留での郵送が可能です。
申込書類と参加料金のご入金をZ.C.A.で確認後に、参加申込み成立となります。
申込みのみでそのままにされますと、受理されませんのでご注意ください。

銀行振込の場合：りそな銀行 大森支店 普通預金
株式会社エヌ・スポーツ 0138161

2-3 参加できる車両

参加できる車両はZ-Challengeの車両規則に準じた車両。およびフェアレディーZ（Z33・Z34）。
※車両規定の詳細につきましては、第3章をご参照ください。

※<排気音量規制について>

現在モータースポーツでの排気音量規制は近隣住民への騒音配慮の為、年々厳しくなっております。
Z耐の舞台である袖ヶ浦フォレスト・レースウェイも例に洩れず、比較的厳しい規制が敷かれております。
今後のモータースポーツ繁栄の為に、取組必須の項目でもありますので、皆様のご協力をお願い致します。

当日は停止状態での個々の車両の排気音量測定は行わず、走行時の常時計測という形を取らせていただいております。もし音量超過が認められた場合、消音器或いは回転数上限設定により音量を落とす対策をお願いすることになりますので、予めの対応をお願い致します。

そのため、スポーツマフラー装着車両の場合は、お早めに事務局にご相談頂けますようよろしくお願い致します。

原則スポーツ走行に適した車両。排気音量最大 95db 以下であること。触媒レスの車両は基本的にNG。JASMA 認可マフラーを判断基準とする。

※オープンカーは幌またはルーフ装着にて走行の事。但し、4点式以上のロールバー及び4点式以上のシートベルト装着車両はその限りではない(オープン走行時は要事務局確認)。

(第3章 3-7 項に別途記載)

2-4 装備について

装備規定は最低限となっております。但し、走行会であっても正式なレースであっても、サーキットを走る楽しさの陰に潜む危険は、まったく同等のものです。つきましては、最大限お体を守る装備をご用意頂けますよう、各自任意にて徹底を宜しく申し上げます。

ヘルメット	フルフェイス或いはジェットタイプのヘルメットとする。(2輪用でも可)。 なお、オープンカーは原則フルフェイスとする(シールドは閉じて走行すること)。耐火性フェイスマスク推奨。
スーツ	耐火性のレーシングスーツ推奨。長袖・長ズボンでも可とする(難燃素材が望ましい)。※腕まくり NG
グローブ	レーシンググローブ推奨。難燃性素材のグローブで、操作に悪影響のないものとする(滑りにくいなど)。オープンフィンガーは NG。
シューズ	レーシングシューズ推奨。スニーカーでも可とするが、ソールが薄いものが望ましい。靴紐はペダルなどに引っかからない様にする。ヒールや底の厚いトレッキングブーツなどは NG。

※装備についてレース用でない(JAF適合でない)場合は、必ず事務局に使用の可否をお問い合わせください。

2-5 参加方法

エントリーは 参加申込書でのお申込となります。

<お申込の流れ>

1. 参加申込書に必要事項を記入の上FAXにて送信下さい。
2. お申込手続きと併せて、参加費のお支払いをお願い致します。チームあたりの参加人数により参加費が異なる場合がありますのでご注意ください。
3. お申込手続きと参加費のお支払いが完了した時点で正式エントリーとなります。WEB上のエントリーリストにクラスとチーム名が記載されます。(掲載を以って、エントリー完了のご報告にさせていただきます。)
4. 受理書の発送は行いません。メールで代表者の方へお送りしますので、ご確認の上印刷して当日お持ちください。
5. 詳細なタイムスケジュールは開催 2 週間前を目処に WEB にアップ致しますので、各自チェックをお願いします。
6. WEB上からエントリーシート及び防火に関する誓約書をダウンロード・印刷・ご署名の上、当日受付にてご提出下さいませ。必要書類をすべてご提出いただいた時点で当日の参戦手続きが終了となり、計測器と最終版エントリーリストをお渡しさせていただきます。最終版エントリーリストにはゼッケン番号・参加者・車両名・エントリークラスが記載されておりますので、登録情報に不備等無いかご確認下さい。

2-6 料金規定

1. 参加者・参加車両をはじめとした登録内容の変更受付も**開催日 7 日前を期限**とさせていただきます。以降の変更につきましては、1 件につき手数料 10,000 円となりますので予めご承知おき下さいませ。
2. 変更受付と同様に、選手・車両の追加受付も**開催日 7 日前を期限**とさせていただきます。以降の変更につきましては、1 件につき手数料 10,000 円となりますのでご承知おき下さいませ。
3. 上記 1. 2 .項の手数料の適用は、HP上の記載変更・クラス変更等エントラント情報の変更のための処理のために必要となるものです。また、競技結果及び他エントラントへの影響があると主催者が認めた場合も同様に手数料を必要とします。選手・車両登録変更及び追加によるリザルトへの影響が避けられないと主催者が判断した場合、クラス表彰の対象外とします。
4. 追加・変更・削除いずれの場合に関わらず、開催 7日前以降の登録内容変更を行ったエントラントは、クラス表彰の対象外とします。
5. 選手・車両について、登録が完了し主催者が出走を認めたもの以外は走行を禁じます。万が一未登録の選手・車両の走行が発覚した場合、即時に該当エントラント(チーム)を失格とし、以後の走行・競技への参加は認められません。

第 3 章 車両規定

“Z耐”は「耐久レース形式走行会」です。その為、車両規定は正式なレースのそれよりも比較的少なく、注意喚起が主となっておりますが、特に車両の不備はご自身だけでなく、周りにも迷惑をかけてしまいます。下記をご参照頂き、当日までにしっかりと車両を万全な状況にしておいてください。

なお、下記【規定】及び【必須】項目に於いて不備が認められた場合、その改善が確認されるまで走行不可となりますので、予めご了承ください。

3-1 【規定】ゼッケン

ゼッケンは原則、エントリー順にて若い番号から発行していきます。自チームのゼッケンは、WEBエントリーリストをご確認ください。また、希望ゼッケンがある場合は、受付時にご申請ください(優先順位は参加費お支払順と致します)。

ゼッケンは各チームでご用意をお願い致します。

車両前面に1枚・左右両側面に1枚ずつ、計3枚を制作し張り付けて下さい。

ゼッケンは **0** , **00** , **000** など1桁~3桁までとします。

ゼッケンの字体などは特に規定は設けませんが、必ずタワーやポストからも数字が確認しやすいものとしてください。なお、ゼッケンカラーと明確な反対色でのゼッケンベースの製作を指定しております。形状は視認性を阻害しない限り特に問いません。

文字サイズは、**A3 横フルサイズ**を目安として下さい。側面のゼッケンについては、横方向から視認できる位置に貼り付けること。また、定形用紙にプリントしてそのまま貼り付ける場合は、走行中に飛散することが無いよう、周りをしっかりとガムテープで固定すること。

3-2 【規定】トランスポンダー(計測器)の取付方法

トランスポンダーは1チームにつき1台ずつ、取付ホルダーは参加車両台数分を配布致します。

計測可能角度は、電磁波受信面を下に向けた垂直状態から水平方向に45度付近までですので、出来るだけ垂直になる様に取り付けて下さい。また、トランスポンダーと地面との間に遮蔽物があると、計測電波を拾えない場合がありますのでご注意ください。

リアナンバーへの取付を基本とします。但し、バンパー上部にナンバーがある場合は、リアバンパーへの取付をお願い致します。

また、トランスポンダーは高価な製品であるため、脱落等による破損がない様しっかりと固定してください。ドライバー交代の際は特に要注意です。

トランスポンダーの取り付けとドライバーの交代時間は3分以上とします。

両隣のチームは、フロントタイヤが停止してからストップウォッチで計測してあげましょう。

なお、取付の不備により計測が出来なかった場合、未計測となった周回は結果に反映されませんので、予めご注意ください。

3-3 【推奨】鏡面・ガラス製・樹脂製パーツへのテーピング

ヘッドライト・ウインカー・テールランプレンズなど、飛び石や衝突の際に飛散する可能性のある部位は、ビニールテープなどで飛散防止処理を施して下さい。

なお、常時点灯型のライトカバーなどは熱を帯びるため、全面を覆ってしまうと変形する可能性がありますので、『×型』などのテーピングで対処してください。

3-4 【必須】油脂類漏れ有無の点検

エンジンオイルやクーラントなど、液体の漏れは重大な事故の要因となりますので、入念に点検をお願いします。

万が一走行中に発覚した場合は速やかなピットイン、或いは即時コース外への退避が要求されます。

- エンジンオイル・ミッションオイル・クーラントなどのフィルター・ドレンボルト、及びオイルフィルターの緩みはないか
- エンジンブロック・オイルパン・オイルクーラー・オイルラインの損傷・漏れはないか
- ラジエーター本体・ラジエーターホース・リザーブタンク等の損傷・漏れはないか
- ブレーキキャリパー・ライン・マスター・タンク等の損傷・漏れはないか
- ショックアブソーバーからのオイル漏れはないか

3-5 【必須】タイヤエア圧・摩耗度合い及び損傷有無の点検

タイヤのエア圧が適正値かどうか、また異物が刺さっていたり、傷が付いていたりしないかを点検しましょう。

適正でないエア圧で走行した場合は、十分なグリップが得られないなどハンドリングに悪影響を及ぼし

ます。また、タイヤが極端に摩耗していたり、深い傷などがあつた場合、高負荷時にバーストする危険がありますので、事前にしっかりと点検をし、損傷や摩耗が認められた場合は交換しておきましょう。

3-6 【必須】各パーツ取付具合の確認

走行会でもしばしば、走行中のパーツ脱落が見受けられます。ブレーキや足回りの操安系パーツパーツはもちろんのこと、その他パーツも飛散し他車にぶつかってしまうと非常に危険です。取付ボルトはきちんと締まっているかを点検、更に各所規定トルクで締結を確認すると尚良しです。また、過去に衝撃を受けた部分等も見えない所にクラックが入っていたりしますので、チェックしておいた方がいいでしょう。

- ブレーキキャリパー/パッド残量
- ホイルナット
- マフラー
- ミラー
- アンダーバネル e.t.c...

3-7 【必須】排気音量の最適化

第2章 2-4にも記載してありますが、排気音量規制は95db以下となっております。

当日は停止状態で個々の車両の排気音量測定は行わず、走行時常時計測という形を取らせていただいております。音量超過が認められた場合は一度ピットインして頂き(オレンジボールフラッグにより勧告；4章 4-13項参照)、消音器 或いは回転数上限設定により音量を落とす対策をお願いすることになりますので、予めの対応をお願い致します。なお、連続した音量超過に対してはペナルティが課せられます(第5章5-2参照)。

3-8 【推奨】オイルドレンボルトなど、脱落防止のためのワイヤリング・テーピング

3-4及び3-6に記した項目への対策をより確実なものにする為に、脱落防止のワイヤリング・テーピングを推奨します。可能であれば、是非やってみて下さい。安全性が高まります。

<ワイヤリング推奨箇所>

- オイルドレンボルト・同フィルターキャップ
- オイルフィルター
- キャリパーマウントボルト
- ブレーキホースバンジョーボルト
- エンジンオイルゲージ(或いはタイラップ固定) e.t.c...

<テーピング推奨箇所>

- ブレーキ・クラッチマスターリザーブタンクキャップ
- クーラントリザーブタンクキャップ
- ウィンドウォッシャー液タンクキャップ
- パワステオイルタンクキャップ e.t.c...

3-9 ロールバー、ロールケージの装着

まさかの横転やハードなクラッシュ時に、安全性が非常に高まります。特にオープンタイプの車両の場合は、取付を強く推奨します。

3-10 牽引フックの装着

スタックなどで自走不能になってしまった際のために、牽引フックの装着を強く推奨します。(牽引フックの装着がない場合、やむを得ず多少なり車体に負荷がかかる場所に牽引器具を取り付けることがあります。)

3-11 【補足】使用タイヤについて

「エントリーしやすい」がモットーのZ耐ですので、タイヤの指定・制限はありません。但し、Sタイヤをはじめとする指定タイヤ・装着車両に対して、一定のコンディション下に於いてボーナスポイントが発生します。詳細は第6章をご参照ください。

【備考】車検について

Z耐では、走行前の安全点検を行います。また、各自、車両の各部点検は毎走行前に必ず行って下さい。今回は車検員が各ピットを周り、目に留まる点があれば確認させていただくスタイルでチェックをさせていただきますので、ご協力宜しくお願い致します。

第4章 決勝走行時のルールとマナー・注意事項

今まで危険性について取り上げてきましたが、コース上の全てのドライバーが共通認識で行動すれば、スピンやクラッシュを回避できます。ここでは、走行時のルールとマナー・注意事項について取り上げていきましょう。

4-1 決勝前進行(進行詳細については公式通知にて別途発表)

- 1, 決勝スタート 20 分前になったらゲートオープン。予選で決まった順にグリッド上へ整列を開始。その際各チームのメンバーは全員コース上に入ることが出来ます。
- 2, スタート 10 分前にコースインゲートを封鎖します。この時間までにグリッドに付けないチームは、ピットロードからの最後尾スタートとなります。
- 3, スタート 3 分前になったら、ドライバー以外全てのメンバーはコースから退出、サインエリア内も立入禁止となりますので、ピットエリアへと一度退去して下さい。

4-2 スタート方法(進行詳細については公式通知にて別途発表)

スタートは、スタンディングスタート方式を採用します。流れは以下の通りです。

- 1, 予選で決まった順序でグリッドに整列。最前方にペースカー配置。
- 2, グリーンフラッグで、各車一斉にスタート。但し、この時点ではペースカー先導・自分より上位グリッドの車両を追い越してはならない。
- 3, そのままコースを1周走行。車両はグリッドについて、各自のグリッドに停車し、シグナルのレッドシグナルによるカウントダウンが始まり、レッドシグナルが全点灯の後、全消灯でスタートとなる。この時間より150分経過時点でのトップ車両へのチェッカーとなる。

※最終コーナーからの立ち上がりでの隊列の中で、過度に車両を左右に振った蛇行走行、また極端なペース調整は危険を伴うため禁止。

4-3 ピットインの流れ

ドライバー(車両)交代などでピットインする際は、8コーナー立ち上がりから緩やかに速度を落としつつ、コースの右側走行をキープして下さい。

同時に、右ウインカーを点滅して、ピットインの意志を後続に伝えましょう。

※特に 9コーナー立ち上がり以降、急激なライン変更によるピットインは、大変危険なため禁止とします。また、進入の際にはホワイトラインカットに注意してください。ピットイン指示やチェッカー後、ピットインの機会を逸脱しても、無理にピットに入ろうとせず、再度コースを一周してからピットインしてください。ピットロード入り口では車両は減速して進入してください。

4-4 ピットアウトの流れ

ピットアウト時は、緩やかに加速、左ウインカーを点滅、ピットアウトの意志を伝えつつ、後続に注意してコースに入ります。3 コーナーを過ぎるまで右側をキープして走行しましょう。その後、後続の有無を確認し、通常走行ラインに復帰してください。

※特にホームストレート合流時、コースとピットレーンの境界を示すホワイトラインを跨ぐケースが多く見受けられます。このホワイトラインカットもペナルティの対象となりますので、十分注意して下さい。

4-5 ピットロードの速度制限(別途公式通知に詳細記載)

ピットロードは 40km/h 制限とします。例え 40km/h 以下で走行していたとしても、ピットには大勢人がいますので、周囲に充分気を配って走行して下さい。

4-6 窓

走行中は運転席側の窓を必ず閉めましょう。運転席側以外の窓は開けても構いません。但し、ウイ

ンドウネットを取り付けている場合この限りではありません。

4-7 ウィンカーの使用に関して

コースイン(4-4)、PITイン時(4-3)以外のウィンカーの使用は原則禁止です。
ただし、追い越し時のウィンカーの使用に関しては、別途公式通知にて詳細を発表致します。

4-8 クラクションの使用に関して

コース上ではクラクションをはじめとしたホーン類の使用は禁止と致します。

4-9 ドライバー(車両)交代の方法

ドライバー(車両)の交代時は必ずエンジンの停止を義務付けます。

前走のドライバーがシートから降りた瞬間からエンジン停止、次走のドライバーの準備、並びに計測器の取付が完了した時点でエンジン再始動とします。

停車時間の計測は、前走の車両のフロントタイヤの回転が停止した時点からとし、3分以上停車。

この間に、次走の車両のドライバーの準備とトランスポンダーの取り付けを行うこと。

自走の車両のフロントタイヤの回転するまでが3分以上となること。

両隣のチームは、フロントタイヤが停止してからストップウォッチで計測してあげましょう。

後述いたしますが、計測器(トランスポンダー)はサーキットの所有物となります。万が一損傷・破損させた場合は修理代のご請求が発生してしまいますので、脱落しないようしっかりと固定して下さい。

4-10 レース中の給油作業は禁止

レース進行中のピットインによる給油作業は全て禁止。

4-11 コースアウト時の対処法 ※復帰可能な場合

車両が動く状態にあり、走行復帰が可能な場合(判断は早く行いましょう)は、後方の安全を十分に確認し、コースに復帰しましょう。復帰後は車両に多くの砂利が付着しているため、出来る限りコースの端をスロー走行し、必ず一度ピットに戻るようして下さい。ピットに戻った後は、各部損傷箇所がないかを点検、砂利を綺麗に落としてからコース復帰の流れとなります。

なお、コースアウトが確認された車両は、一度ピットロードエンド付近の指定エリアで競技役員による車両チェックを行う場合がございます。清掃・点検が不十分であった場合、再度修繕をお願いする場合があります。また、コースアウト後も走行を続けている車両には、オレンジボールが提示されます。

4-12 コースアウト時の対処法 ※復帰不可能な場合

車両が動かない、或いはグラベルにはまってコース復帰不可能と判断した場合は、速やかに車両から離れ、ガードレールの裏に避難しましょう。避難の際は、コースの様子を見つつ迅速に移動、救助を待ってください。決して走行中の車両に背を向けてダラダラと移動することの無いように。

また、救助が来るまでヘルメットは必ず装着したままで待機すること。

※コースアウト後復帰不可能になった場合、車内で救助を待つ人が見受けられますが、これは非常に危険です！動けなくなったら、速やかにコースの外へと退避して下さい。

4-13 フラッグの種類

コース状況を知るには、目視の他に各コーションフラッグで得ることが出来ます。それぞれの意味を十分に理解した上で、走行に臨みましょう。

	イエローフラッグ コース脇・またはコース上一部に危険箇所がある。進行方向を変更する準備をせよ。徐行にて追い越し禁止区間。		SC ボード セーフティーカーの介入を知らせる。掲示中は追い越し禁止、セーフティーカー追従。イエローフラッグ同時掲示。
	オイルフラッグ コース上に、オイル・砂・砂利などで滑りやすい箇所がある。雨の降り始めにも使用する事がある。注意して走行せよ。袖ヶ浦のスポーツ走行では追い越し禁止ですが、Z耐では追い越し可とします		オレンジボールフラッグ 車両に機械的欠損、またはその他の問題があり、危険と思われる場合該当車両のゼッケン或いは指差しと共に掲示。安全を確認しながら1周後ピットストップせよ。但し、液体漏れや火災の場合は速やかにコース外へ退避すること。
	グリーンフラッグ 規制区間の解除。以降通常走行可能。		チェッカーフラッグ 走行終了。コース1周後、パドックに入れ。チェッカー後は追い越し禁止。
	レッドフラッグ 重大な事故発生。全車走行中止合図であり、サーキット内の前ポストで表示される。全ての車両は最大の注意払い、最徐行にて追い越し禁止。		

4-14 フルコースコーションについて(セーフティーカーの介入)

決勝レース進行中にコース上でトラブルが発生した場合、セーフティーカー(以降 SC)の介入によりレースを一時非競技状態とすることがあります。SC 介入のサインは、メインポストから「SC」の表示がされているボードとイエローフラッグが提示されます。

SC の介入は、走行順位に関わりなく安全に介入が出来るポイントで行われます。SC 介入中は、全車追い越し禁止となります。SC の後方に一列追従で走行してください。コース上の安全が確保されるまでこの状態が続きます。

SC 介入中も周回数の計測は行われます。介入中のピットイン・給油・ドライバー交代は自由です。但し、ピットアウトは SC の走行地点により制限されます。ピットロードエンドのシグナルにてコントロールしていますので、SC 介入中のピットアウト時はご注意ください。

コース上の安全が確保された時点で、SC のコーションランプ消灯、後にピットインします。その後、コントロールラインでグリーンフラッグを受け追い越し規制解除、レース再開となります。

4-15 「初心者マーク」について

サーキット走行経験が少なく、「追い抜かれること」に自信の無い方に於きまして、車両後方の視認しやすい場所に「黄色線(50cm)×2本」をガムテープなどで貼付して下さい。

また、諸先輩方はこの規定・標識の意味を十分に把握していただき、オーバーテイクの際には、安全な間隔と速度差で、思いやりを持って抜くよう心がけて下さい。

4-16 急激なライン変更は危険

多くの車両が同時にコースを走っている為、急激なライン変更は他の車両のラインをふさぐこととなり大変危険です。また、速度差が顕著に生じている可能性もあるため、大事故に繋がりがかねません。追い越しなどの際もラインは緩やかに、最低限の範囲で変更すること。また車両トラブルなどでスピードを落として走行せざるを得ない場合は、周囲の安全を確認しながら、緩やかにラインを外れるようにして下さい。

4-17 テール to ノーズ・スリップストリームは使わない

レースと言えばコレですが、実は結構な危険を伴います。相手の後ろに潜り込むと、その先の視野が極端に制限されます。スリップから出た瞬間、その先に遅い車両がいたり、コースインしてくる車両があったりと、予測できない事態に遭遇するケースがあります。

更にZ耐では排気量・性能が異なる車両が混走します。場所によっては 100km/h以上の速度差も生じますので、ストレートではテール to ノーズ・スリップストリームは使わず、必ず前の車両と少しオフセットさせた状態で、前者とその前の視界を確保してください。

決勝終了後の流れについて(進行詳細は公式通知にて別途発表) レース終了時の流れは、以下の通りです。

1. 走行会終了となった時点で、その時点のトップ車両を起点に、メインポストからチェッカーフラッグの振動掲示を開始。ピットロード閉鎖。
2. チェッカーを受けた時点でレース終了。以降の追い越しは禁止、緩やかに速度を落として前車追従にて走行。各ポストイエローフラッグ掲示。
3. 7 コーナー付近のゲートより、先頭車両前に SC 介入。
4. 全車コントロールライン手前からホームストレート上に順に停止。エンジンストップ。以降アナウンスがあるまで車両移動禁止。コース開放。
5. 計時システムの最終チェック終了次第、車両移動禁止の解除。最徐行でコース上より撤収。

4-18 当章総括

<袖ヶ浦 Z耐の基本趣旨より>

袖ヶ浦Z耐は、まだレースをやったことのない人にも楽しんで頂き、今後、参戦してみたいと思っただけことが第一です。そのためスピードのみを争うことよりも、レースの雰囲気とマナーを、一緒に走るサーキットの先輩方が、指導し教えてくれるような場になればと思っています。

決勝中であっても、各先輩方が実際の走りにてレースのマナーと安全で正しい抜き方抜かれ方を、これからの人へ伝えていただければと思います。

<サーキット走行経験の少ない方へ>

サーキット走行初心者の方でも、少なからず旗の説明やピットイン・アウトなどのルール・マナーを確認しているはずですが、もう一度、体が覚え反応できるようになるまでチーム代表と確認しあってください。

第 5 章 決勝進行時のペナルティについて

本来ペナルティはレースの公平性と安全性とを守るためのものですが、Z耐は趣旨特性上、安全性の確保に重きを置いたペナルティを設定します。また、他のレースでは違反の内容によりペナルティの度合いも調整されますが、Z耐では安全性に関わる問題は最重要項目とし、全て同様のペナルティと致します。

5-1 ペナルティの対象

決勝進行中は下記に挙げる違反を行った場合、そのチームはペナルティの対象となります。

1. フラッグ違反
2. ピット速度違反
3. 音量規定違反
4. 明らかな他車妨害行為
5. 危険と思われる一切の行為(著しく頻繁なスピン・コースオフも対象となります)
6. その他、当規則並びに公式通知に定める事項に反する行為全般
7. ターゲットタイムへの時間調整のためにコース上での停車、スロー走行は禁止とします。行った場合はペナルティ対象となります。

5-2 ペナルティの決定

競技役員により違反が確認された場合、競技長から以下の処分を下すこととします。

1. ピットストップ

ピットストップの場合は、走行中のドライバーに「P」ボードとともにゼッケンが提示されます。

車両故障の場合は、オレンジボールとともにゼッケンが提示されます。

ピットストップ又はオレンジボールを受けたドライバーは、速やかに自己ピットにピットインの上、車両故障内容又は違反内容を競技役員から確認して下さい。なお、**ドライバー交代と同時にピットストップペナルティの消化は出来ません。**直前にドライバー交代を行った場合、コース復帰後再度ピットインの上ペナルティ実行となりますのでご注意下さい。

2. 罰金

罰金の指示を受けたチームの代表は、レース終了までに**事務局へ**に支払うこととします。罰金の支払いがなされない場合は、失格処分と致します。内容と罰金金額については、最終ページをご参照下さい。

3. 周回数減算及び失格

違反後も改善の意志が見受けられないなど、Z耐の趣旨に反する行動をされる場合は、全て**審査委員長の一存**のもと、周回数減算から失格の処分を下させていただきます。

4. 音量規定違反に関する個別ペナルティ

音量規定違反に対しては、2回目以降から都度2周減算とします。なお、カウントはチーム単位となります。

5-3 監視体制

主に競技役員並びに各ポスト、及び監視カメラからの監視とします。

5-4 ペナルティの結果への反映

ペナルティにより周回数減算が発生した場合は、直接3時間耐久の結果に反映されます。

第6章 ボーナスポイントについて

Z耐には様々な車両・ドライバーが参加します。となると必然的に、車両スペックや経験値などで差が出てきます。車両については排気量でクラス分けを行なっていますが、その中でも大きく力量差が出てくる場合があります。その差を埋めるべくして設定したのがボーナスポイントです。

6-1 ボーナスポイントの種類

1. ラジアルタイヤブースト

決勝中フルタイムでコースコンディションがドライの場合に限り、参戦車両全ての装着タイヤが下記指定タイヤに該当しないチームには、**+3 週のボーナスポイント**が発生します。

指定タイヤの判断基準は、S タイヤ・セミレーシングタイヤと明記されている、コンパウンドの設定が複数ある、公道での使用に際して注意喚起の記載がある、明らかにドライコンディション下のパフォーマンスに傾倒していることを条件としています。さらに、オーガナイザーがハイパフォーマンス相当としたタイヤ。

なお、現時点で記載がないモデルでも相応すると判断した場合、或いは相応する新モデルが発売された場合は、順次公式通知にて指定タイヤ追加の発表を行います。

ブリヂストン	POTENZA RE11S / RE55S / RE71 / RE710 RE05D、RE12D、RE71-RS
ヨコハマ	ADVAN A050 / A048 / A052 / NEOVA AD08R
ダンロップ	DIREZZA 03G / 02G / 94R / ZⅢ
トーヨー	PROXES R888 / R888R
ピレリ	P ZERO TROFEO / TROFEO R
ミシュラン	Pilot Sport Cup / Cup 2
ハンコック	Ventus TD (Z221) / Z214
ニッター	NT05
クムホ	ECSTA V710 / ECSTAV700 / ECSTAV720
NANKANG	AR-1

6-2 ボーナスポイントの適用

ボーナスポイントの適用は、原則自己申告とさせていただきます。該当チームは当日 1 回目のブリーフィング後、事務局にご申請ください。

6-3 ボーナスポイントの反映

ボーナスポイントは、総合結果へ反映されます。

6-4 記載以外のボーナスポイント追加について

現在当章に記載していない、新規のボーナスポイントを追加する可能性もあります。詳細は、公式通知にて発表致します。

第 7 章 表彰内容とポイント加算方法について

150分耐久終了後、表彰式を行います。表彰項目は以下の通りです。

Z耐総合	1~6 位
------	-------

第 6 章に定めるボーナスポイントは、**総合結果に加算し算出します。**

最終結果は周回数に基づき主催者が決定することとします。

表彰トロフィーもご用意しておりますし、総合結果の発表後は撮影会も設定しております！

頑張って表彰台を目指しましょう！

第 8 章 パドックの使用について

当日は車両の種類もさる事ながら、レースに慣れ親しんできた人やそうでない人、お父さんの勇姿を見に来た奥様やお子様など、ありとあらゆる人がいらっしやいます。もちろんそのため、走行会やレースが行われているサーキットのパドック内では、何が OK で何が NG なのかという認識もバラバラです。ここでひとつ、Z耐の場合を認識しておいていただければと思います。

8-1 パドックの使用とトランスポーター等の駐車場所について

当日パドックは配置を指定しております。トランスポーター等の駐車場所や動線については別途公式通知として発表いたしますが、ピット側のパドックエリアは参戦車両優先、併催イベントや来場台数によっては、パドック外駐車場のご利用をお願いする場合がございますので、予めご了承くださいませ。なお、当日現地ではスタッフの誘導に従っていただくようお願い致します。

8-2 ピットの使用について

各チームのピットは、事務局にて割り振らせて頂きます（参加費お支払順を基準に35番ピット側から配置）。発表はゼッケンと同じく開催 7 日前を予定しております。必ず指定のピットを使用して頂くようお願い致します。

なお、ピットの数は限られており、エントリー状況によっては複数のチームで一つのピットをご使用頂く場合もございます。楽しく一日を過ごせるよう、譲り合いの精神でご利用いただくようお願い致します。同様に、ピット前へのテント設置につきましても、お隣のチームに邪魔にならないようお願い致します。また、1 チームあたりの割当ピット数上限を 2 ピットと制限させていただきます。大勢でご参加頂くチームの皆様には大変恐縮ではございますが、1 コーナー側駐車スペースをご利用の上、適宜車両の入れ替えをお願い致します。

ピット裏の走路は、他の競技車両がコースから戻る際に使用いたしますので、車両の駐車・大型テント設営は極力避けてください。

8-3 パドック内の車両走行について

給油やその他諸事情により、パドック内で車両を走行させる際は、周囲に十分注意し最徐行でお願い致します。ピットからの車両出し入れの際は、ドライバー以外のチーム員の方も安全に配慮していただくようお願い致します。ウォーミングアップやテスト走行はいかなる場合も NG です。

また、2輪で場内を移動される際は必ずヘルメットを装着していただくようお願い致します。

8-4 パドック・ピットでの暖気について

過度なレーシングは禁止されています。アイドリング+αレベルのレーシングでゆっくりと暖気を行って下さい。

8-5 ピット電源の使用について

ピット内のコンセントは、タイヤウォーマー、電子レンジやホットプレートなど、電力消費の大きい製品は使用禁止とさせていただきます(みんなで一気に使用するとブレーカーが落ちてしまうため)。

電力消費の大きい機材を使用する際は、必ずご自身で発電機などをご用意いただくようお願い致します。

8-6 パドック・ピット内の立ち入り区分・規制について

ピットからコース側のエリアは、安全性を考慮しお子様の立ち入りはご遠慮頂いております。また、ピットロードからサインエリアは傘やサンダル等の使用は禁止となっております(傘はコースに飛ばされると危ないので)。

8-7 パドック・ピット内の火気使用について

火の取扱いについて

原則全エリア火気厳禁です。調理などをされる際は発電機 & 電気調理器具をご利用下さい。タバコは所定の場所にて、稀に車の中で吸っている方も見かけますが、それも NG です。**電子タバコ、加熱式タバコも同様に所定の場所をお願いいたします。**

8-8 自転車やキックボードの使用について

移動用として自転車やキックボードを持ち込まれることは可能ですが、使用の際は十分に注意して下さい。なお、遊び(賑やかし・暇つぶし含む)目的のお持込みは禁止とさせていただきます。

第9章 Z耐での事故・損害等への対応

最後に、サーキットでの事故におけるルールとマナー、及びお見舞金の説明をしておきましょう。

スポーツ走行や走行会でもほぼ同様の内容となっておりますので、サーキットでモータースポーツを楽しむ上で、是非覚えておいていただければと思います。

9-1 サーキット内での事故は自己責任

サーキットでの走行を楽しむにあたり、大前提中の大前提が「全ては自己責任である」こと。他の車両に突っ込まれて自分の車両がダメになっても、あまつさえ怪我をしても、相手や主催者・サーキットにその賠償を請求することは出来ないルールとなっております。

しかしだからといって、やらかしてお咎め無しというわけではありません。

自分のミスで他の車両にぶつけてしまっても知らんぷり、クラッシュの巻き添えにしまっても声すらかけない。そんな人はサーキットを走るのには向いていないでしょう。

他車との接触を始め、事故に巻き込まれてしまったら、お互いを気遣い声を掛け合うようにしましょう。

9-2 お見舞金(スポーツ安全保険加入者)について

Z耐参戦中にクラッシュ転倒その他で負傷してしまった場合、お見舞金が支払われます。対象は走行される参加者のみ、応援・観戦やお手伝いとして参加される方々対象外となりますので、予めご注意ください。そのため、パドックでの車両移動に関しては、動かす側も勿論のこと、当日会場にいる全員が注意して行動していただくようお願い致します。

※お見舞金の内容に不安のある方は、別途ご自身で傷害保険等にご加入されることをお勧め致します。

9-3 サーキット設備損壊・消耗の場合

サーキット設備を破損させてしまった場合、例えばガードレールに突っ込んでしまったり、トランスポンダーを落として壊してしまったりなど。火災の際に使用する消火器もこれに当たりますが、何らかの事故により損壊・消耗した設備を回復させるのにかかる費用は、当事者へのご請求となりますので、予めご承知おきください。なお、代表的な諸設備の修繕費用は下記のとおりとなります。

- ガードレール(板) 60,000 円/枚
- ガードレール(支柱) 40,000 円/本
- トランスポンダー 50,000 円/個
- 消火器 5,000 円/本 ※各税別

9-4 パドック内の事故に関して

コース上は勿論のこと、パドック内にも危険は潜んでおります。パドック内で発生した事故や盗難等に関しましても原則自己責任となりますので、車両や物品の管理につきましては十分ご注意ください。

全てをこうしてみると「なんだかハイリスクだなあ…」と思われるかも知れませんが、サーキットは何でもOK などところでは無いということ、公道よりも安全とされているフィールドですが、きちんとしたルールとマナー、そしてそれらに対する共通認識があって初めて成り立ちます。

公道&道路交通法も同じなのですが(例えばガードレールを破損させたりしたらちゃんと請求されます)、車両保険で自覚しづらくなっているのではないのでしょうか。

ぜひこの機会にクルマを走らせることのリスクも一緒に考えていただければ幸いです。

番外編 撮影映像・画像著作に関して

Z耐で取得した車載カメラ等の映像・画像に関する一切の著作権は主催者に帰属することと致します。ただし商用目的外での、SNS や YouTube 等での個人使用はその限りではありません(但し、誹謗中傷につながるものは許可されません)。なお、撮影されている参加者の方へは、主催者からの素材提供協力をお願いする場合がありますので、その際は御協力宜しくお願い致します。

最後に…

この度は最後までZ耐規則書をお読み頂きありがとうございました。

少しでもご興味あれば、是非事務局までご連絡下さい。ご不明な点など改めてご説明させて頂ければと思います。それでは、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

袖ヶ浦・Z耐事務局

ペナルティ罰金一覧

内容	金額
フラッグ違反	8,000 円/1回
ピットロード速度違反	8,000 円/1回
音量規定違反	5,000 円/1回
他車妨害行為	5,000 円/1回
危険走行	5,000 円/1回
装備規定違反	5,000 円/1回
その他規則書 / 公式通知記載事項違反	5,000 円/1回